



置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院

心かよう信頼と安心の病院



病院理念

心かよう信頼と安心の病院

運営方針

1. 患者本位の医療の展開

信頼され安心される患者本位の医療の提供
患者のプライバシーに配慮した医療の提供

2. 高度・救急医療の提供

最新医学と先進技術による高度医療の提供
迅速・適切に対応する救命救急医療の提供

3. 健全経営の確保

職員総参加による経営の健全化
経営分析の徹底と経営情報の公開

4. 人材の育成

優しく思いやりのある接遇と研修の充実
医学・医療技術の研鑽と教育研修の充実

5. 地域連携の推進

病病・病診連携の推進による地域医療の充実
保健機関・福祉施設との連携による地域包括医療の支援

6. 快適な環境の整備

安らぎと潤いのある療養環境の提供
働きやすい職場環境の整備



置賜広域病院企業団
企業長 渡邊 文洋

人口減少や少子高齢化、医療介護制度の改革など医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、高度医療の集約化、回復期医療の充実、在宅医療の強化が急務となっています。

当企業団においても、高度・急性期医療や救急医療を担う「総合病院」と初期医療や回復期・慢性期医療を担う「サテライト医療施設」が、機能分担をより明確にし連携を強化しながら、地域の医療機関や介護施設と協働する形で切れ目のない医療提供を行うことが求められています。

このため、「総合病院」と「サテライト医療施設」がそれぞれに期待される役割を十分に発揮できるよう、以下の取組みを行ってまいります。

1つ目は、総合病院を核とした「医療の質の確保」です。置賜二次医療圏で唯一の「救命救急センター」をもち、「地域がん診療連携拠点病院」、「災害拠点病院」などの役割を担う「総合病院」については、医療スタッフ等の充実を図りながら、看護体制の強化や更なるチーム医療の推進などに取り組んでまいります。また、人材確保の観点から、研修医の受入れのための「レジデントハウス」を整備し、平成31年4月から供用開始しております。

2つ目は、「サテライト医療施設と地域医療機関との連携」です。当企業団のサテライト医療施設では、令和元年に南陽病院、令和4年には長井病院が、それぞれ建替えが完了し、患者の療養環境の充実と、地域の医療機関との連携強化に力を入れていきます。特に、訪問看護・訪問診療機能の提供、在宅療養支援病院として在宅患者の急変時の受入体制を構築し、地域包括ケア体制の中心施設としての機能を発揮させていきます。

今後も「心かよう信頼と安心の病院」という基本理念のもと、良質で安心の医療の提供を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

当院は総務省が進めております公立病院改革に先駆けて、平成12年に長井市、南陽市、川西町、飯豊町の2市2町の医療施設を再編し、山形県を加えた5つの構成団体で、置賜地区の急性期医療を担当する中核病院として発足しました。

2市2町のちょうど真ん中という立地条件のために、既存の町並みからは離れ、東に蔵王連峰、南に吾妻山、西に飯豊連峰、北に朝日山系（葉山、大朝日岳）と四方を美しい山並みに囲まれた置賜盆地の田園風景の中に当院は建っております。都会風の生活に慣れた方には少し不便かもしれませんが、療養の環境としては最適なものと考えています。

開院以来置賜地域の基幹病院として、主に急性期を担当する「公立置賜総合病院」と、回復期・慢性期を担当する「公立置賜長井病院」、「公立置賜南陽病院」、外来での診療を行う「公立置賜川西診療所」の3つのサテライト医療施設及び「飯豊町国保診療所」との協力により医療分担連携を行っております。

当院は置賜唯一の「救命救急センター」を併設し、「地域がん診療連携拠点病院」、「地域医療支援病院」、「災害拠点病院」、「第二種感染症指定医療機関」、「へき地医療拠点病院」、「臨床研修指定病院」の指定を受け、置賜地区のまさに中核基幹病院としてその役割を果たしております。置賜地区の医療を守り支え、地域患者のニーズに応えられるよう今後も頑張っております。

当院の理念は「心かよう信頼と安心の病院」で、医師、看護師のみならず、薬剤師、技師、療法士、管理栄養士、医療系事務職など多くの職員が一緒になり患者を中心としたチーム医療を心がけています。このため当病院では優秀な人材を確保し、経営の健全化を進め、病院スタッフが生き生きとして働ける職場づくりを進めています。このふるさとで生まれ育った若い方々が医療関係の仕事を目指した時には、戻ってきて働きたくなるような病院にしたいと考えていますので、これからもよろしくお願いいたします。



置賜広域病院企業団 医療監
(兼)公立置賜総合病院
院長 江口 英行



患者さんの権利

1. (尊重と平等)

患者さんは、ひとりの人間として尊重され、安全で良質な医療を平等に受ける権利があります

2. (個別の状況に応じた配慮を受ける権利)

患者さんは、個別の状況に応じた合理的配慮を受ける権利があります

3. (十分な説明と理解)

患者さんは、ご自身の病気について、十分な説明を受ける権利があります

4. (自己決定の自由)

患者さんは、自分の受ける医療について十分な説明をうけたうえで、自らの意思で承諾あるいは拒否する権利があります

5. (情報の開示と選択)

患者さんは、自分の診療情報の開示を求める権利と、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります

6. (研究上の医療に対する選択)

患者さんは、研究上にある医療に関し、十分な情報提供と説明を受けたうえで、その医療を受けるかを決める権利と、何らかの不利益を受けることなくいつでも医療を拒否する権利があります

7. (プライバシーの保護)

患者さんは、診療の過程で得られた個人情報を守られ、プライバシーを尊重される権利があります

患者さんへのお願い

8. (正確な情報の共有)

患者さんは、健康に関する情報をできるだけ正確に医療スタッフに伝えてください

9. (医療への積極的な参加)

患者さんは、治療や検査について、合意した方針には意欲を持って取り組んでください

10. (ルールの遵守)

患者さんは、病院内の規則を守るとともに、社会的ルールを尊重し、他の患者さんが快適に医療を受けられるようご配慮ください



臨床倫理指針

公立置賜総合病院で臨床医療に携わる者は、

1. 患者さんの利益を最優先とする医療を実践します。
2. 患者さんには良心をもって平等に接し、その人格や価値観を尊重します。
3. 患者さんの立場に立った対応を心がけ、良好な信頼関係を築くよう努めます。
4. 情報を正しく伝え、十分な説明と同意に基づく自己決定を尊重します。
5. 科学的根拠に基づいた安全・最良な医療を行うよう全力をつくします。
6. 個人情報やプライバシーを保護し、職務上の守秘義務を遵守します。
7. 必要な医療情報や診療録を規則に従い開示します。
8. 関連法規を遵守し、医療倫理の諸指針を尊重します。



サテライト医療施設との連携 地域連携

概要

公立置賜総合病院は、置賜地域の高度・救命医療を担う病院として、長井市立総合病院、南陽市立総合病院、川西町立病院及び飯豊町国民健康保険診療所を再編して設立されました。

公立置賜総合病院を高度・救命医療を担う基幹病院とし、サテライト医療施設が初期医療、慢性期医療を担うとする試みは全国に先駆けて実施され、自治体病院の広域再編モデルとなっています。

サテライト医療施設との連携

置賜地域は、山形県内でも高齢化の進んだ地域です。地域の住民の皆さんが必要とする医療を効率的に提供するため、公立置賜総合病院とサテライト医療施設では機能の分担を図っています。

公立置賜総合病院とサテライト医療施設では共通の診察カードを使用し、さらに電子カルテ等を用いた情報ネットワークの構築による患者情報の共有を行っており、患者さんの利便性に配慮した運営を行っています。また、一部の診療科では公立置賜総合病院の医師がサテライト医療施設において診察を行うなど、継続した治療を行うことも可能となっています。



地域病院
地域診療所

連携



飯豊町国民健康保険診療所



地域連携

公立置賜総合病院では、住民の皆さんにとって良質で安全な医療を提供するため、地域の病院や診療所と連携して診療を行っています。

専門的・高度な治療や急性期の医療を公立置賜総合病院が担当し、その他の定期的な診察やお薬等は地域の病院や診療所で担当していただくという地域連携を推進しており、地域医師会の方々とのネットワークの構築も進めています。

高度・救命医療を担う病院としての機能を存分に発揮するため、外来診療における紹介予約制やかかりつけ医をもつていただく等の具体的取組みにより、今後も重点的に地域連携の強化を進めていきます。

OKI-net とは…

患者さんの医療情報（受診歴、注射、お薬、検査結果、検査画像などの治療歴）を置賜地域内の医療機関で参照・共有するシステムです。情報共有できることでシームレスな医療連携が可能となります。

患者さんは A 診療所と B 病院と C 病院に通院中



A 診療所



B 病院



C 病院

B 病院での検査は悪くないが C 病院では〇〇薬をもらっているね



公立置賜長井病院



公立置賜南陽病院



公立置賜総合病院
救命救急センター



公立置賜川西診療所





ゆとりのある快適な環境

正面入口を入ると一面に広い空間が広がります。ここはホスピタルプラザと呼ばれ、総合案内、会計窓口、お薬コーナーなどがあります。
 間接照明を多く配し、さらに外からの光を多く取り込むことであたたかみのある空間となっています。



中央医事カウンター



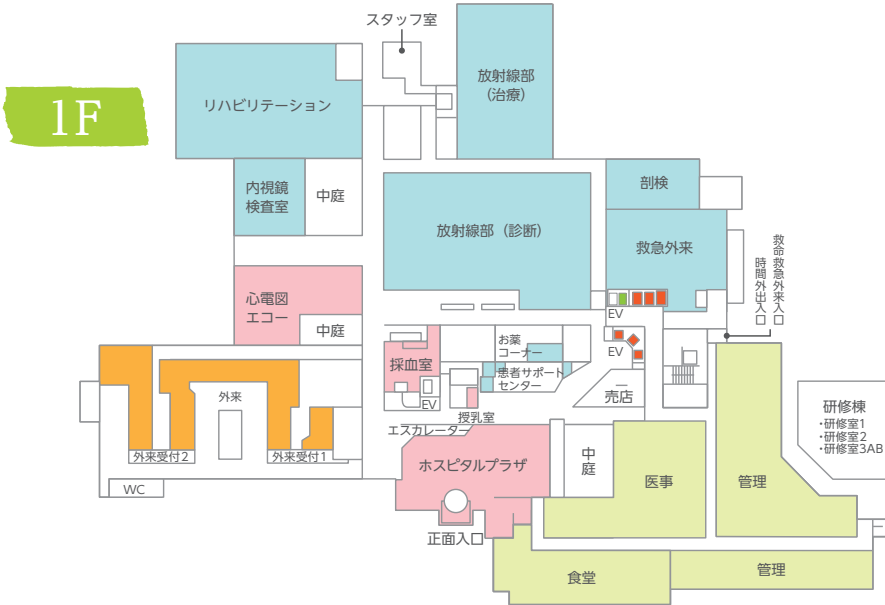
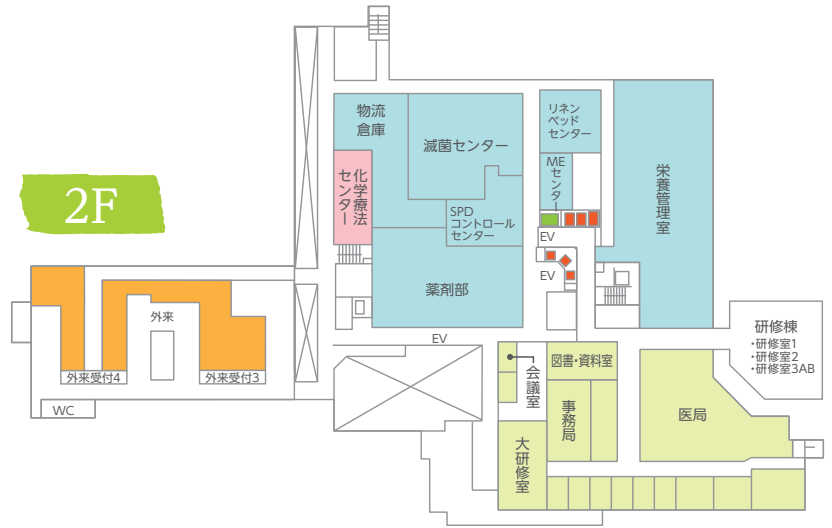
外来受付



再来受付機



自動精算機



患者サポートセンター



人工透析室



化学療法センター



リハビリ公園

病院敷地の自然環境を活用し、屋外での訓練も可能となるようリハビリ公園を整備しています。



ナースステーション



デイコーナー



医師をはじめとする各部門職員とチームで連携し、患者さんが安心して入院生活が送れるようケアしています。



ラウンジ

心やすらぐ 入院環境



個室

病室はゆったりしたスペースの4床室と個室で構成されています。
部屋ごとに窓が設けられており、置賜地方の豊かな自然を望むことができます。



4床室



病棟食堂

8F	整形外科、眼科 51床	
7F	循環器病センター [循環器内科・ 心血管外科・ 腎臓内科] 51床	呼吸器病センター [内科(呼吸器)・ 呼吸器外科]・ 総合診療科 50床
6F	消化器病センター[消化 器外科]・外科・歯科口腔 外科・顎顔面外科センター 51床	消化器病センター [消化器内科]・ 小児科 50床
5F	精神科 46床	血液内科・ 内分泌内科・ 泌尿器科 50床
4F	産婦人科・小児科・ 消化器内科・ 消化器外科・外科 50床	脳神経外科・ 耳鼻咽喉科・ 神経内科 48床
3F	手術室・家族控室・ 臨床検査部・輸血部・HCU 12床・ ICU 8床・人工透析室 18台	
2F	外来	外来・化学療法センター 薬剤部・栄養管理室・物流倉庫 MEセンター・管理
1F	外来	外来・救命救急センター外来 薬剤窓口・内視鏡・放射線 生理検査・リハビリテーション



良質な医療の提供



入院時面談



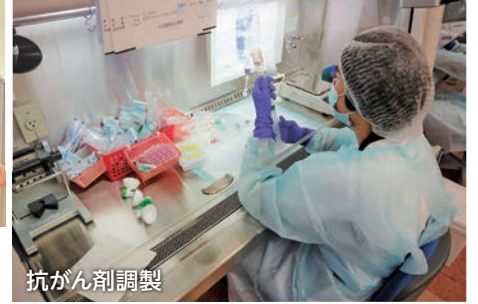
病棟業務

薬剤部

調剤業務、病棟業務、入院患者さんに対する持参薬の確認のほか、抗がん剤調製業務も行っています。



注射薬セット確認



抗がん剤調製



チーム医療の提供

- ・糖尿病療養指導チーム
- ・緩和ケアチーム
- ・栄養サポートチーム (NST)
- ・院内感染防止チーム (ICT)
- ・抗菌薬適正使用チーム (AST)
- ・呼吸ケアチーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・院内暴力対策チーム
- ・転倒転落防止チーム
- ・院内急変対応チーム
- ・静脈不全・塞栓防止チーム
- ・点滴・静脈注射チーム
- ・認知症ケアチーム
- ・身体拘束最少化チーム
- ・精神科リエゾンチーム
- ・その他



理学療法士 (PT)



作業療法士 (OT)



言語聴覚士 (ST)

放射線治療装置



心臓血管撮影装置



核医学検査



MMG



放射線部

迅速で的確な診断価値の高い画像情報の提供に努めるとともに、置賜地域で唯一の放射線治療を行っています。

手術室業務



採血室



全自動分析システム

臨床工学室

安全に医療機器が使用できるよう点検を行っています。また、手術室・心臓血管撮影室・集中治療室・人工透析室など様々な場所で業務を行っています。

臨床検査部

診断・治療に貢献できる検査結果を迅速に提供するため、24時間体制で検査を実施しています。



超音波検査



細菌検査

栄養管理室

普通食のほか、患者さんごとに適した特別食の提供も行っています。栄養サポートチーム(NST)も稼働しており、食を通してチーム医療を担っています。



管理栄養士による栄養指導



食事の提供



温冷配膳車



ドクターヘリ



救命救急センター入口



救命救急センター初療室

救命救急センター

救命救急センターでは、一次から三次までの幅広い疾患の救急患者の診察に24時間体制で対応しています。緊急用のヘリポートも整備し、救急患者の受入れを広域に行っています。



救命救急センター処置室



救命救急センター診察室



救命救急センターICU個室

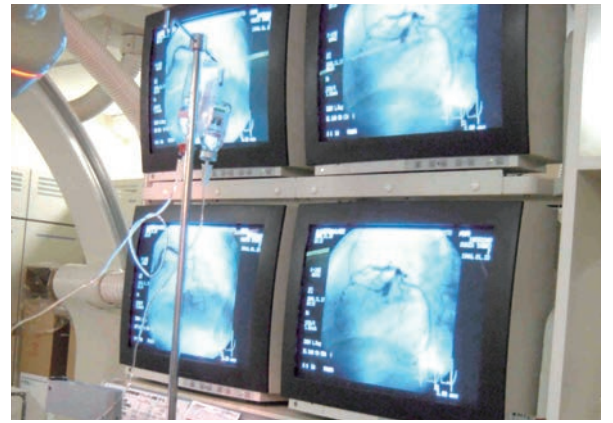


救命救急センターHCU病室





循環器研修



麻酔科研修



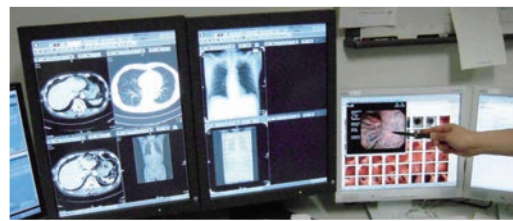
研修室

臨床研修

当院の臨床研修の特色

当院は急性期の受診者が非常に多く、疾患の変化に富んでいます。診療科間の垣根を払って総合的診療にあたっており、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につけるには絶好の条件が整っています。また、救命救急センターでの最先端の高度救急医療を身をもって経験できるほか、基幹型臨床研修病院であることから、精神科はもちろん、地域医療についても、当病院企業団のサテライト医療施設で研修することが可能であり、2年間研修に集中することができます。

当院は基幹型臨床研修病院の機能のほか、山形大学、米沢市立病院及び鶴岡市立荘内病院の協力型臨床研修病院としての機能も併せ持っており、毎年多くの研修医の受入れも行っています。



画像カンファレンス

40名を超える指導医が在籍し、充実した指導体制と研修環境で研修医の受入れを行っています。





看護部紹介

看護理念

確かな技術と笑顔で支える思いやりの看護

看護方針

- 1.患者の人権を尊重し、「その人らしい生活」を意識した看護を実践します。
- 2.予測される危険を回避し、安全な看護を提供します。
- 3.病院の健全経営に貢献します。
- 4.専門性を高め、自律した看護職として多職種や地域と協働します。
- 5.働いてみたい・働きやすい・働き続けたい組織を作ります。

目指す看護師像

受け手にとって最善を考えられ、実践できる看護師

目標管理

看護部では目標管理を導入しています。

病院→看護部→部署→個人という段階を経て、
部署は成果を個人は成長を目指して取り組んでいます。

認定看護師

- ・緩和ケア認定看護師 2名
- ・がん化学療法看護認定看護師 1名
- ・がん放射線療法看護認定看護師 1名
- ・乳がん看護認定看護師 1名
- ・がん性疼痛看護認定看護師 1名
- ・糖尿病看護認定看護師 1名
- ・認知症看護認定看護師 1名
- ・慢性呼吸器疾患看護認定看護師 1名
- ・手術看護認定看護師 1名
- ・救急看護認定看護師 2名
- ・感染管理認定看護師 2名

看護部委員会活動

- ・看護教育運営委員会
- ・業務改善委員会
- ・看護記録委員会
- ・看護研究委員会
- ・臨地実習指導委員会
- ・その他

卒後・継続教育制度

看護理念を遂行するためには、組織化された教育プログラムが必要となります。

看護部の卒後・継続教育制度はラダー方式により一歩一歩着実なステップアップが可能です。専門的知識と技術・高い倫理観・豊かな人間性を持ち「確かな技術と笑顔で支える思いやりの看護」の看護理念に沿う看護師の育成に努めています。



プリセプターシップを採用し、個性を大切にした
新人教育を行っています。

認定看護師による研修会や実践指導も行っています。

※プリセプターシップとは…

先輩看護師(プリセプター)が新人看護師と固定ペアを組み、1年間を通して仕事の教育・指導を行う新人教育制度のことです。



概要

施設認定

- 救命救急センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター）【置賜二次医療圏】
- 第二種感染症指定医療機関【置賜二次医療圏】
- へき地医療拠点病院
- 臨床研修指定病院 医師 基幹型
- 臨床研修指定病院 歯科医師 基幹型
- 臨床研修指定病院 医師 協力型
- エイズ治療拠点病院
- 地域医療支援病院

学会等認定施設

- 浅大腿動脈ステントグラフト認定施設
- 日本IVR学会専門医修練施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
- 日本肝臓学会特別連携施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本救急医学会連携施設
- 日本形成外科学会教育関連施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本血液学会認定専門研修教育施設
- 日本口腔ケア学会認定施設（口腔ケアセンター）
- 日本口腔外科学会研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本産科婦人科学会連携施設
- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会連携施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度（新生児）補完施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度（母体・胎児）補完施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本小児神経学会小児神経専門医研修関連施設
- 日本神経学会准教育施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本腎臓学会認定教育施設
- 日本膀胱学会指導施設

設立運営主体

置賜広域病院企業団

1. 構成団体

山形県、長井市、南陽市、川西町、飯豊町

2. 設立年月日

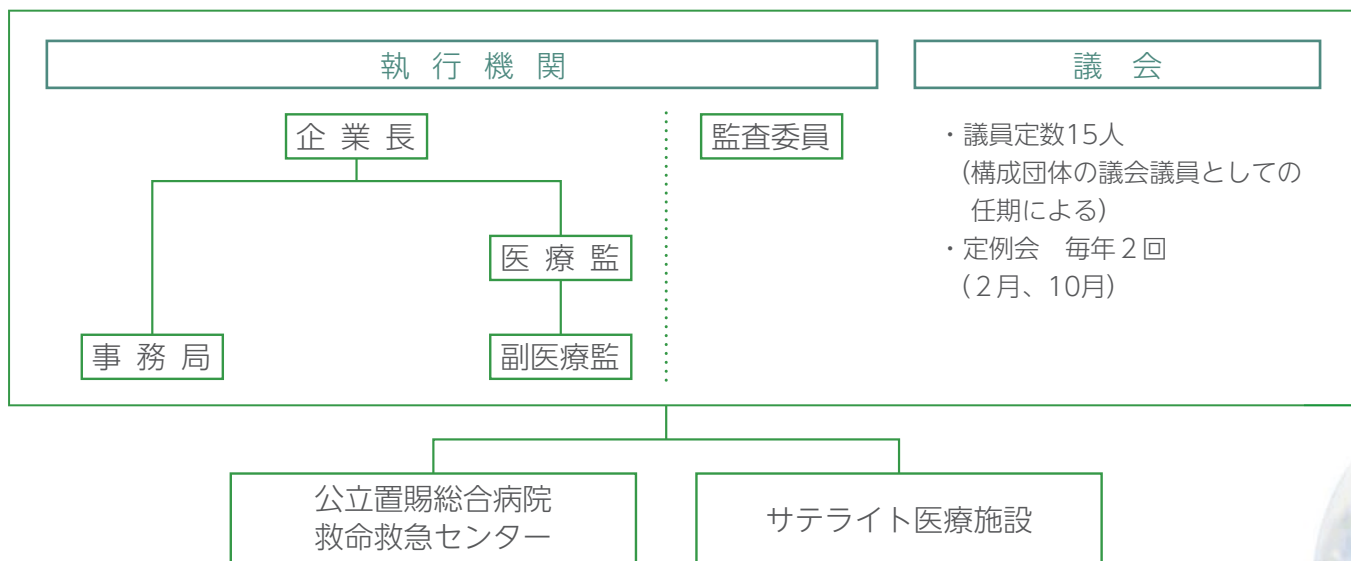
平成7年11月15日

置賜広域病院企業団章



5つの輪は山形県、長井市、南陽市、川西町、飯豊町を表し、この構成団体が協力して整備・運営する形を表現しています。緑は置賜の豊かな自然と安らぎをイメージしています。

置賜広域病院企業団





- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本精神神経学会連携施設
- 日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本専門医機構 総合診療専門医検討委員会総合診療専門研修プログラム認定
- 日本総合病院精神医学会専門医研修施設
- 日本総合病院精神医学会電気けいれん療法研修施設
- 日本総合病院精神医学会特定研修施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本手外科学会関連研修施設
- 日本透析医学会教育関連施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内科学会専門医制度連携施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- 日本脳神経外科学会専門研修プログラム 連携施設
- 日本脳卒中学会研修教育施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST専門療法士認定教育施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本臨床神経生理学会教育施設(筋電図・神経伝導分野)
- 日本医学放射線学会放射線科専門医訓練機関
- マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設

沿革 (令和7年4月現在)

平成12年	11月 1日	公立置賜総合病院開院(17診療科)(一般500床、精神20床) 救命救急センター指定 災害拠点病院(地域災害医療センター)指定 第二種感染症指定医療機関指定 へき地中核病院指定(H16.12.1「へき地医療拠点病院」へ変更) 老人性認知症疾患センター指定
	11月 6日	外来診療開始
平成14年	5月 1日	「循環器科」を標榜(18診療科)(H23.5.1「循環器内科」と改める)
平成15年	4月 1日	医療連携室の設置(H22.4.1医療連携・相談室へ名称変更)
	6月 11日	SARS入院治療指定病院指定
	10月30日	臨床研修指定病院(医師単独型)指定
	12月	登録医制度開始
平成16年	7月	外来点滴治療室の設置
	8月18日	臓器移植院内コーディネーター制度導入
	10月	病棟再編
平成17年	4月	遠隔放射線治療計画システムの導入
	9月14日	臨床研修指定病院(医師協力型)指定
平成18年	1月	臨床研修指定病院(歯科医師単独型)指定
	9月	災害派遣医療チーム(DMAT)配置
平成19年	1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定
	4月	相談支援センター設置
	7月16日	新潟中越沖地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣
	12月	災害派遣医療チーム(DMAT)を2班体制として配置
平成20年	4月 1日	医療安全部の設置
	6月14日	岩手・宮城内陸地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣
	7月	岩手沿岸北部地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を自主派遣
	10月	病棟再編(各科の入院患者の変動等、感染症病床や無菌管理用病床の適切利用など) 医療クラークの導入
平成21年	4月 1日	DPCへ移行
平成22年	10月	眼科に眼腫瘍センターを設置
平成23年	1月21日	エイズ治療拠点病院指定
	3月11日	東北地方太平洋沖地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣 南陽市及び長井市の避難所に日本赤十字救護班を派遣
	4月 1日	院内保育所開所
	5月 1日	「形成外科」を標榜(19診療科)
	5月 6日	病院機能評価Ver6.0認定(認定期間:平成23年5月6日~平成28年5月5日まで)
	6月	ID-Link(OKI-net)運用開始
	7月 1日	健康デジタルサイネージシステム運用開始
	12月19日	地域医療支援病院の承認
平成24年	3月28日	研修棟開所
	4月 1日	「消化器内科」を標榜(20診療科)
	5月 1日	「消化器外科」を標榜(21診療科)
平成26年	4月 1日	「呼吸器外科」・「救急科」を標榜(23診療科)
	11月 5日	「おきたま病院 健康まつり」の開催
平成27年	3月28日	病棟再編(センター化構想、感染症隔離病床管理)
	8月 8日	「おきびょう夏フェス2015」の開催
	12月21日	ドトールコーヒーショップ公立置賜総合病院店オープン
平成28年	3月 4日	病院機能評価3rdG:Ver1.1認定(認定期間:平成28年5月6日~令和3年5月5日まで)
	5月 3日	熊本地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣
	7月31日	「おきびょう夏フェス2016&救急フォーラム置賜2016」の開催
平成29年	4月 1日	置賜広域病院企業団発足
	7月29日	病棟再編(53床休床 8階東病棟閉鎖)
	9月23日	「おきたま病院健康まつり2017&救急フォーラム置賜2017」の開催
	11月21日	7:1入院基本料の取得
平成30年	7月 1日	一般病床26床を精神病床に転換(一般474床、精神46床)
	9月 6日	北海道胆振東部地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣
	10月20日	「おきたま病院健康まつり2018&救急フォーラム置賜2018」の開催
平成31年	4月 1日	レジデントハウス供用開始
令和元年	5月 7日	ヤマザキショップ置賜総合病院店オープン
	7月26日	一般病床24床を廃止(一般450床、精神46床)
	10月14日	台風19号の被災地(宮城県丸森町及び角田市)へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣
令和2年	6月 1日	「乳腺外科」を標榜(24診療科)
令和4年	7月 8日	病院機能評価3rdG:Ver2.0認定(認定期間:令和3年5月6日~令和8年5月5日まで)
令和6年	1月 5日	能登半島地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣(第1班)
	1月23日	能登半島地震被災地へ災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣(第2班)
	2月 3日	能登半島地震被災地へ日本赤十字救護班を派遣
	10月19日	「おきたま病院健康まつり2024&救急フォーラム置賜2024」の開催
令和7年	3月 1日	一般病床26床を廃止(一般424床、精神46床)
	8月 1日	「小児外科」を標榜(25診療科)
	10月25日	「おきたま病院健康まつり2025&救急フォーラム置賜2025」の開催

診療科目及び病床数

1. 診療科目 25 科目

内科・精神科・神経内科・消化器内科・循環器内科・
小児科・外科・消化器外科・呼吸器外科・小児外科・
整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・
泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・
リハビリテーション科・放射線科・歯科口腔外科・
麻酔科・形成外科・救急科・乳腺外科

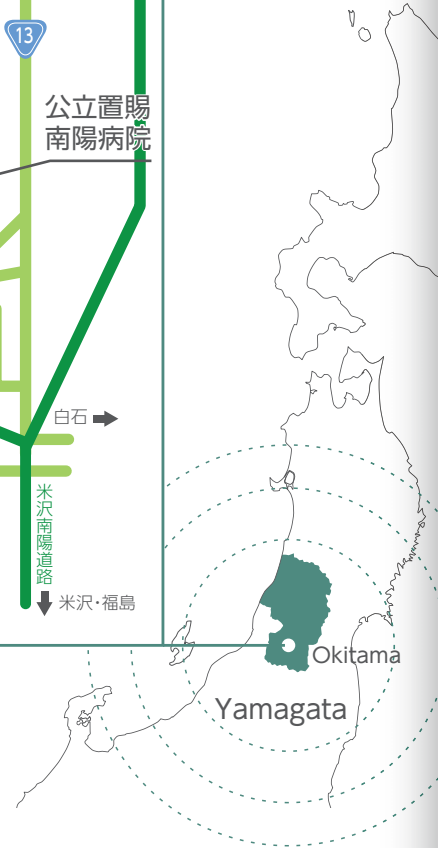
2. 病床数 470 床

【一般病床 400 床、精神病床 46 床、
救命救急センター 20 床 (ICU8床、
HCU12床)、第二種感染症病床4床】
人工透析 18 台

3. 施設概要

総床面積 41,606.12 m²
建物規模 地上 8 階、塔屋 1 階
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
一部鉄筋コンクリート造
その他 駐車場台数約 1,000 台
緊急用ヘリポート

Access



[公立置賜長井病院]
〒993-0002 長井市屋城町2番1号
TEL: 0238-84-2161
FAX: 0238-84-2642



[公立置賜南陽病院]
〒992-0472 南陽市宮内1204番地
TEL: 0238-47-3000
FAX: 0238-47-5710



[公立置賜川西診療所]
〒999-0121 東置賜郡川西町大字上小松2918番地2
TEL: 0238-42-2151
FAX: 0238-42-2765



[飯豊町国民健康保険診療所]
〒999-0604 西置賜郡飯豊町大字椿3654-1
TEL: 0238-72-2300
FAX: 0238-72-3375

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町大字西大塚2000番地
TEL: 0238-46-5000 FAX: 0238-46-5711
[救命救急センター]
TEL: 0238-46-5800 FAX: 0238-46-5801

- 交通案内**
- 自家用車でおいでの方
[山形・米沢方面より]
国道13号線から梨郷道路に入り
新潟方面へ向かって約12km
 - 電車とタクシーでおいでの方
JR赤湯駅下車 タクシーにて約20分
JR今泉駅下車 タクシーにて約5分